

日本NIE学会会報

第31号

[発行所] 日本NIE学会事務局

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1 横浜国立大学教育人間科学部 重松克也研究室内

TEL/FAX 045-339-34330 jssnie2005@gmail.com

日本 NIE 学会第 1 2 回奈良大会のご案内 (2次案内)

主催：日本 NIE 学会

後援：奈良県教育委員会、奈良市教育委員会

日本NIE学会会長

小原友行

大会実行委員長

松川利広

1 期 日 平成 27 (2015) 年 12 月 5 日 (土) ~ 6 日 (日)

2 会 場 国立大学法人奈良教育大学 (奈良県奈良市高畑町)

3 参加費 大会 3,000 円 (学生・院生 1,000 円) 懇親会費 5,000 円
※当日参加の場合は 3,500 円 (学生・院生 1,000 円) 懇親会費 5,500 円

4 テーマ NIE と「21 世紀型スキル」 - NIE はどのように深い学びを開くのか? -

5 日 程

○ 12 月 5 日 (土)

11:00 12:00 12:50 14:00 14:10 14:50 15:10 16:50 17:40 18:00 19:30

理事会	受付	開会行事	基調講演 21 世紀型の 学力とは何か 奈良教育大学 小柳和喜雄氏	休憩	話題提供 ・未来の図書館構想 と NIE ・人権 (道徳) と NIE ・新たな学びの協力 関係と NIE	移動・休憩	研究分科会 NIE 実践や研究 に関わる研究分科 会を 7 つ開催 (概 要は後掲)	総会	移動	懇親会
-----	----	------	---	----	---	-------	--	----	----	-----

○ 12 月 6 日 (日)

8:30 9:00 12:20 13:15 16:30

受付	自由研究発表	昼食	世界遺産探訪 春日大社・東大寺・正倉院
----	--------	----	------------------------

大仏殿では、大仏さまのお膝のすぐそばの
基壇まで特別に上がることができます

12月5日(土)

奈良教育大学講堂(開会・基調講演・話題提供会場)および講義棟(研究分科会会場)

- 11:00～ 理事会(教室「つばさ」)
- 12:00～12:50 受付(講堂入口)
- 12:50～ 開会行事「開会あいさつ」
大会実行委員長 松川利広(奈良教育大学教職大学院教授)
- 13:00～14:00 基調講演「21世紀型の学力とは何か」
小柳和喜雄氏(奈良教育大学教職大学院教授)
- 14:10～14:50 話題提供 ※上記基調提案を受けて下記について話題提供いただきます
1 「未来の図書館構想とNIE」
2 「人権(道徳)とNIE」
3 「新たな学びの協力関係とNIE」
- 15:10～16:40 研究分科会 15:10～同じ時間帯で7つの分科会が開催されます。
※下記研究分科会1～7の概要をご参照の上、
「参加申込書」にて、参加ご希望の研究分科会をご指定下さい。

研究分科会1「未来の図書館構想とNIE ～新たな学習空間・情報空間のデザインの可能性～」

L1,L2 講義棟1階104教室

概要：小中高の授業において、アクティブラーニングの手法が注目される中、主体的な学びを支える図書館で、本や新聞を用いて、どのような情報リテラシーを養える取り組みができるのか模索します。さらに、奈良県平群町が構想する未来型図書館の発表と、大学・図書館・新聞社をリンクさせた教育活動のデザインと実践報告をベースとして、21世紀の時代状況の中で、いかなる新たな学習空間・情報空間が必要であるのか、また、NIEでの学習者や実践者、新聞界との新たな関係性とその可能性について話し合います。

報告者 西村 君江 氏(奈良県平群町図書館)
越地 真一郎 (熊本日日新聞社・熊本大学)
コーディネーター 伊吹 侑希子 (京都学園中高等学校)

研究分科会 2 「人権教育に新聞をどう活用できるか ～道徳の教科化を展望して～」

L1,L2 講義棟 1階 105 教室

概要：新聞には古くより、人権教育に援用できるさまざまな記事やコラムなどの情報が掲載されてきた。そのような、NIE を人権教育に活用してきた実践発表をベースとして、道徳の教科化を見すえつつも、ひとりひとりの児童生徒の生活実態や将来への展望に寄り添いながら、これからの人権教育をNIEでどうすすめるべきか、それは21世紀の時代状況の中でいかなる教育的意義があるのか話し合います。

報告者 挽地 一代（元奈良市立二名小学校）
奈良県 NIE 協議会若手教員の勉強会より代表者

コーディネーター 土屋 武志（愛知教育大学）

研究分科会 3 「戦後 70 年の今、未来へ何を残すか ～新聞の役割とNIE～」

L1,L2 講義棟 2階 201 教室

概要：戦後 70 年の今、過去をふりかえるだけではなく未来を展望したNIEのあり方について、教育現場からの視点での報告と、「平和学習では、ただ考えるのではなく、どの程度までの未来の展望を考えさせるのかを明確に示すべきではないか」という問題提起とともに、地元紙の奈良新聞で戦後 70 年の特集を組まれた担当者より、新聞社の視点から戦後 70 年の特集をなぜ組んでいるのか、その意図等の説明をいただき、参会者で意見交流をおこないます。

報告者 増山 和樹（奈良新聞社）
野津 孝明（島根県立宍道高等学校）

コーディネーター 赤池 幹（日本NIE学会）

研究分科会 4 「国際化とNIEーグローバル化社会におけるNIE実践とは何かー」

L1,L2 講義棟 2階 203 教室

概要：グローバル化時代において、国際情勢をはじめ政治・経済など、判断に窮する内容に、現場教師は苦慮している。しかし、国際化や市民性などは、これから生きる子どもたちには必要な資質であり、喫緊の課題でもある。ここにNIEの役割があろう。ここでは、韓国で著名なNIE実践者を招聘し、日本でのNIE実践との比較などを通して、NIEの役割とは何かを明らかにしていく。まさに「21世紀スキル」の獲得に資するNIEとは何か、参加者と対話していきたい。

話題提供「韓国における実践」 李 貞均 氏（韓国NIE実践者：小学校教諭）

指定討論者 松岡 靖（京都女子大学）

コーディネーター 阪根 健二（鳴門教育大学）

研究分科会 5 「ICT と NIE」 L1,L2 講義棟2階 206 教室

概要：二つの事例報告をもとに、「デジタル時代のNIE」について話し合います。

事例1 遠隔地間の学校を結んだ学習活動

岡山、京都、奈良の3地域の高校生がICTを活用して、お互いの授業を見あい、それがどのような意義があるのか、自ら検証したプロジェクト学習の報告をベースとして、ICTが得意とする「距離の解消」が何を可能にし、それがNIEとどうリンクできるのか等について。

事例2 教育系SNSを活用した学習活動

戦後70年の新聞記事をはじめとした多様な情報と向き合い、教育系SNSやデジタルコンテンツを活用し、平和について考えるというアナログとデジタルを融合した国語科の学習をもとに、ICTの活用がNIEに何をもたらすのか等について。

報告者	植田 恭子 (大阪市立昭和中学校)
	畝岡 睦実 (岡山県立城東高等学校)
コーディネーター	林 向達 (徳島文理大学)

研究分科会 6 「NIE 実践と研究 ～実践報告を研究論文にするために～」 L1,L2 講義棟2階 208 教室

概要：学会員の独創的あるいは普遍的ですぐれたNIE実践が、おしむらくは実践報告にとどまるのが散見される。しかし、では実践報告をどうすれば研究発表に、そして学会誌への掲載論文へとレベルアップできるのか、多忙な学校現場に出てしまうと学ぶ機会を持つことはなかなかできない。この分科会では、NIE実践を研究論文とする実際的な方法を紹介し、それをもとに実践を研究としてまとめていくことについて話し合います。

報告者	矢野 佳津 (奈良県立生駒高等学校)
コーディネーター	小原 友行 (広島大学)

研究分科会 7 「新聞社が育てるNIE」 L1,L2 講義棟2階 209 教室

概要：新聞社が行う出前授業やスクラップ教室、先生方向けの勉強会やセミナー、ウェブ版サービスやコンテンツなどの実際について事例紹介する。新聞社はNIEをどのような視点でサポート、広げようとしているのか。また実践教師はこれらの働きかけをどのようにとらえているのか。新たなニーズはあるのか。フロアとの意見交換、情報交流を通して、新聞社が育てるNIEの取り組みについての課題、将来展望について考察します。

報告者	安田 景輔 (朝日新聞社)
	城島 徹 (毎日新聞社)
	早乙女 大 (読売新聞社)
	三谷 徹 (徳島新聞社)
コーディネーター	吉成 勝好 (日本新聞協会)

16:50～17:40 総会 (L 講義棟奥の2階 大講義室)

18:00～19:30 懇親会 (奈良教育大学生協食堂)

12月6日(日)

奈良教育大学 L1,L2 講義棟 (自由研究発表会場・研究分科会報告会場)

- 8:30 ~ 受付 (L2 講義棟 1階 エントランスホール)
- 9:00 ~ 12:15 自由研究発表 (1発表 20分 + 10分質疑)
- 12:20 ~ 13:05 昼食 (お弁当とお茶) ※事前申込者のみ
- 13:15 ~ 16:30 世界遺産探訪 東大寺 (大仏殿基壇へ登壇)・春日大社・正倉院 (予定)

自由研究発表

自由研究発表分科会での発表者の方へ
発表で補助資料を使われる方は 70部、ご用意下さい
なお、補助資料は当日、ご持参下さい

【自由研究発表第1分科会】 L1,L2 講義棟 1階 101 教室

司会：中西一彦 (関西国際大学)・挽地一代 (元二名小学校)

①小・中学校、高校、大学における新聞の活用・読解に関する調査結果の分析Ⅲ

-新聞閲読・NIE活動との相関を通して-

溝口 和 宏 (鹿児島大学)

田口 紘 子 (鹿児島大学)

上谷 順三郎 (鹿児島大学)

②大学と新聞社の協働による免許状更新講習プログラムの開発と実践

-児童・生徒向けモデル新聞作成の場合-

田口 紘 子 (鹿児島大学)

上谷 順三郎 (鹿児島大学)

溝口 和 宏 (鹿児島大学)

③新聞社による写真を主材にしたNIEの取り組み (実践と課題)

伊東 広 路 (読売新聞社)

④新聞社の出前授業実践から、子どもが新聞に興味を持つきっかけを作る

三谷 徹 (徳島新聞社)

⑤新聞を通じて地域の子どものための地元愛を育む研究

-ローカル新聞社と連携した子ども記者クラブの実践を通して-

橋本 祥 夫 (京都文教大学)

滋野 浩 毅 (京都文教大学)

木田 竜太郎 (京都文教大学)

【自由研究発表第2分科会】 L1,L2 講義棟1階102 教室

司会：平石隆敏（京都教育大学）・谷口隆紀（生駒市立鹿ノ台小学校）

①教職課程学生が行う「ことばの貯金箱」の実践

三浦 和 美（東北福祉大学）

②香川県 NIE 研究会の取り組み

前野 勝 彦（香川県高松市立第一中学校）

③学校図書館とNIEの連携にむけての一考察 - 全国大会実践発表の調査より -

村山 正 子（神奈川県相模原市立鷺野森中学校）

三上 久 代（北海道札幌市立平岡中央中学校）

④大学教職課程におけるNIE教育の重要性

渡邊 裕 子（東北福祉大学）

⑤NIE実践の手法と条件を考える - 戸田実践を切り口として -

阪根 健 二（鳴門教育大学）

植田 恭 子（大阪府大阪市立昭和中学校）

【自由研究発表第3分科会】 L1,L2 講義棟1階104 教室

司会：谷田部玲生（桐蔭横浜大学）・辻村浩子（奈良市立田原小中学校）

①18歳選挙権と市民性教育 - NIE 学習の展開 -

小橋 一 久（河合塾）

②NIEの活動の輪を広げる「地方紙全国制覇」の取り組み

岡本 光 子（兵庫県伊丹市立笹原中学校）

③定時制高校における、総合学習と新聞コラムをリンクさせたNIEの実践

久光 原（北海道立恵庭南高等学校）

④NIEによる高校生の学習基盤形成に関する一考察

- 教科の枠組を越えたNIEの実践 -

金子 幹 夫（神奈川県立平塚農業高等学校初声分校）

⑤世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の新聞活用

- 構成4資産創設に貢献した人物に焦点を当てて -

田沼 正 一（群馬県伊勢崎市立豊受小学校）

⑥「発進力」を育成するNIE授業の開発 - 「戦後70年」をテーマとして -

小原 友 行（広島大学）

稲垣 和（広島大学大学院・院生）

岡田 公 一（広島大学大学院・院生）

河原 洸 亮（広島大学大学院・院生）

斉藤 裕 樹（広島大学大学院・院生）

竹内 和 也（広島大学大学院・院生）

辻 幸 大（広島大学大学院・院生）

守谷 富士彦（広島大学大学院・院生）

山田 薫（広島大学大学院・院生）

【自由研究発表第4分科会】 L1,L2 講義棟2階201 教室

司会：中田正浩（奈良学園大学）・矢野佳津（奈良県立生駒高等学校）

①大学での新聞を用いた社会福祉教育の効果の一考察

松井 圭 三（中国短期大学）

今井 慶 宗（関西女子短期大学）

②大学教養教育におけるNIEの目標・内容・方法 - 1年生全員購読を前提とした実践 -

渡邊 弘（活水女子大学）

③新聞ヨム、社会ワカル、自分カワル - 専門学校でのNIE教科化、全員購読の試み -

越地 真一郎（熊本日日新聞社・熊本大学・熊本学園大学）

④新聞を活用した教養育成科目の展開

村田 祥 子（群馬大学）

⑤大学のキャリア教育におけるNIE活用の展望（2）

岡野 聡 子（奈良学園大学）

【自由研究発表第5分科会】 L1,L2 講義棟2階206 教室

司会：重松克也（横浜国立大学）・福田昭彦（奈良県NIE協議会）

①米国ボストン市の中学校・高等学校におけるNIE

稲井 達 也（日本女子体育大学）

②新聞を活用した日本語・英語ディベートの実践

- NPP（原発）ディベートの考察を通して -

福丸 恭 伸（鹿児島県鹿児島市立城西中学校）

③英語で学ぼう！【金融教育】

- ENIE を通しての【「円高・円安差益」と「不動産（投資）」】 -

山西 敏 博（大阪大学大学院博士後期課程・小山工業高等専門学校）

④PF-NOTEとiPadを用いたNIE実践授業の検討

- 児童の思考過程を可視化する振り返りを通して -

菅原 友 子（宮城県仙台市立中野栄小学校）

三浦 和 美（東北福祉大学）

中島 平（東北大学）

⑤デジタル時代におけるNIEのリデザイン

有馬 進 一（元公立中学校教員）

6 大会参加の申し込み

同封の「日本NIE学会第12回奈良大会」の参加申込書に必要事項をご記入の上、**10月26日(月)必着**で、日本旅行奈良支店日本NIE学会デスクまでFAXまたは郵送でお申し込みください。お申し込みされた方へは順次、予約確認書・請求書を発送いたします。なお、入金メ切りは**11月13日(金)**とさせていただきます。

振込先 みずほ銀行 十五号支店
普通 3101600 口座名：日本旅行奈良支店
《恐縮でございますが、振り込み手数料はお客様負担となります》

【お振り込み後のキャンセル・ご返金について】

参加費・振り込み手数料：ご返金できません

懇親会：11月24日(火)までのご連絡で返金可能です、それ以降はご返金できません。

宿泊：宿泊開始日の4日前までのご連絡で全額返金可能です、それ以降は下記の通りです。

宿泊開始の3日前～前日まで20%の取り消し料をいただきます

宿泊の当日のご連絡50%の取り消し料をいただきます

無連絡の取り消し及び不泊100%の取り消し料をいただきます

昼食：12月2日(水)までのご連絡で返金可能です、それ以降はご返金できません

7 連絡、問い合わせ先

○大会参加、研究分科会、懇親会、世界遺産探訪、それぞれの申し込み、宿泊のお問い合わせ先

日本旅行奈良支店 日本NIE学会デスク

(官公庁長官登録旅行業 第2号 ・ 総合旅行業務取扱管理者 水津 敏彦)

担当 汐見明宗 吉田友香 曾根温代

〒630-8236 奈良市下三条町10-1 末廣ビル4階

TEL 0742-26-7225 FAX 0742-27-3274

※営業時間 平日(月～金) 10:00～18:00 (土・日・祝日休業)

☆宿泊についてのご案内

宿泊先については、以下の2通りをご用意しております。お部屋の数十分に確保しておりますが、申し込み状況により他のホテルをご案内する場合もございます。その場合は事前にお知らせいたします。

○ホテル日航奈良・ホテルフジタ奈良・・・1泊朝食付 シングル 11,500円

○サンホテル奈良・コンフォートホテル奈良・・・1泊朝食付 シングル 7,500円

○上記以外のお問い合わせ先

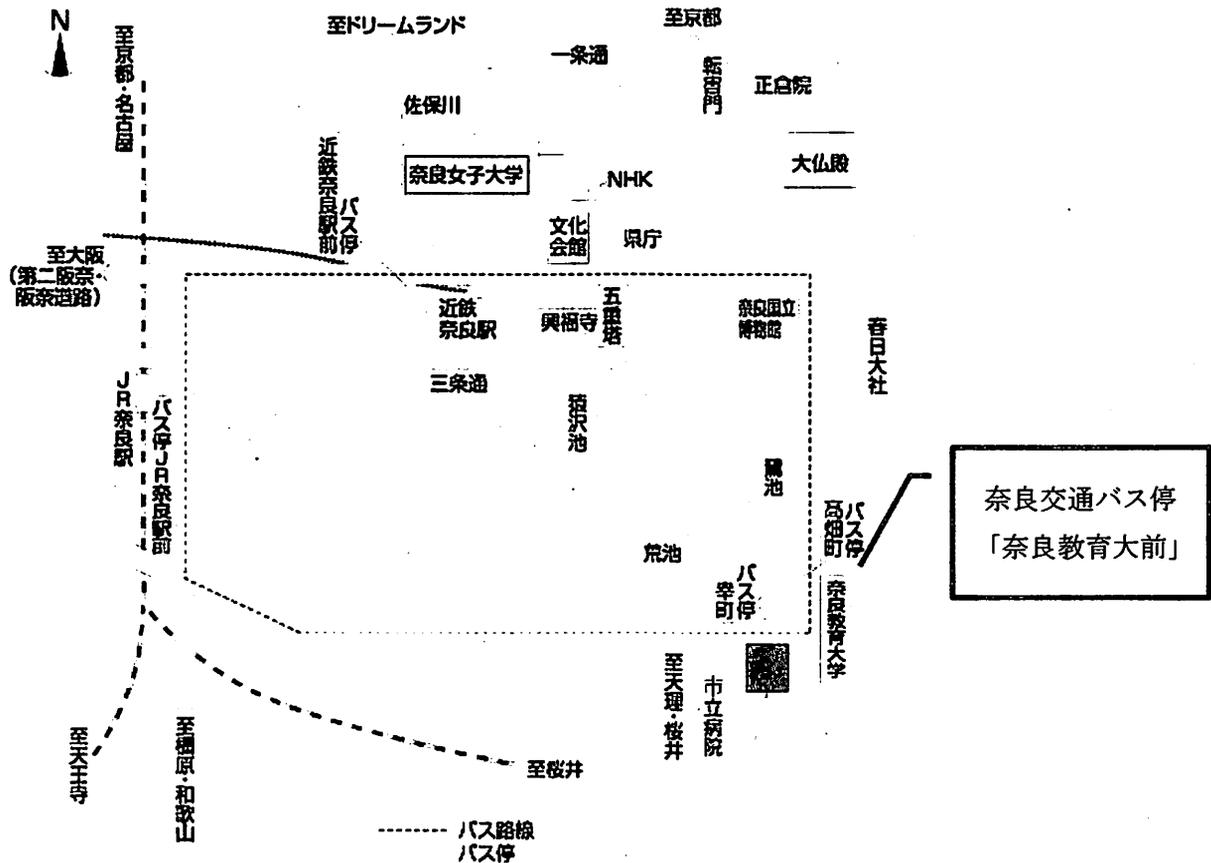
〒630-8305 奈良市東紀寺町1-60-1 奈良女子大学附属中等教育学校

日本NIE学会奈良大会現地実行委員会事務局 二田貴広

E-mail t-futada@cc.nara-wu.ac.jp

TEL 0742-26-2571 FAX 0742-20-3660

☆出張依頼状が必要な方はメールでご連絡ください



近鉄奈良駅・JR奈良駅より市内循環バス約15分

○近鉄奈良駅からも JR 奈良駅からも、奈良交通バス「市内循環」が便利です

近鉄奈良駅からは、「市内循環」バスの「外回り」に乗車 約10分「奈良教育大前」で下車、徒歩5分

JR奈良駅からは、「市内循環」バスの「内回り」に乗車 約15分「高畑町」で下車、徒歩6分

どちらも運賃前払 210円です